



すくすく育てね

山口市の出生率は、平成2年に10%を割り、健やかに子供を生み育てる環境づくりが課題となっています。そのため市では、出生対策地域実践活動の一環として、子育ての輪づくり運動を展開しています。9月19日、市南総合センターで行われた乳児相談やにこにこ広場では、育児相談と赤ちゃんの身長体重測定、離乳食の試食、また市母子保健推進員さんとお母さんたちが、「元気に育て」と願いを込め、タオルでかわいいよだれかけを作りました。

● 市民憲章 昭和46年9月1日制定

1. 自然を大切にし、美しい環境を守りましょう。
1. スポーツに親しみ、健康なからだをつくりましょう。
1. 互いに助け合い、生活を豊かにしましょう。
1. きまりを尊び、良い風習を育てましょう。
1. 郷土を知り、文化財の愛護につとめましょう。

再生紙(古紙混入率80%)利用の市報です

市の木
イチヨウ



市の花
キク



市の花木
キンモクセイ



第5回市議会定例会

山口線電化等の概況を報告

平成3年第5回市議会(定例会)が9月9日から始まり、議会初日に佐内市長はJR山口線の電化等の取組状況などについて次のような市政概況報告を行いました。

JR山口線の電化の取組状況

かねてから懸案事項でありました、山口線の電化を推進するため、去る9月4日に、山口市、小郡町など関係諸団体の構成により「山口線電化等推進期成同盟会」を設立したところであります。

今後、山口線の電化を促進するとともに、山陽本線との相互乗入れ、宇部線との直結の推進について、関係当局に積極的に働きかけ、より一層の市民福祉の向上を図る所存であります。

パンプローナ訪問計画

本市の国際交流につきまし



山口市、小郡町や関係団体により、小郡・仁保間の「山口線電化等推進期成同盟会」が9月4日設立され、電化に向けて、要望書の提出が決まりました。

ては、パンプローナ市・済南市との姉妹・友好都市交流を中心に展開しているところであります。

21世紀の到来を間近に控えて地方の国際化が一段と強く要請される中で、私も姉妹友好都市の実情を知るために、昨年は、済南市との友好都市締結5周年記念行事に参加し、済南市を訪問したところであります。

今年、議会代表者として執行部による姉妹都市パンプローナ市の訪問計画に合わせ、山口市国際親善市民の会によるパンプローナ訪問が企画されましたので、市民の皆様とともに10月5日から15日までの11日間の日程で訪問すること

といたしました。パンプローナでは、今後の姉妹都市交流につきまして十分協議をいたし、両市の相互理解と友好親善を深めてまいりたいと思っております。

なお、サビエルサミット開催を控え、その準備を進めていたところでありますが、9月5日夜半、サビエル記念聖堂が焼失するという想像もしない出来事が発生し、実に残念に思っています。

今は、山口市のシンボルであります、あの塔がそしてさわやかなサビエルの鐘の音が一日も早くよみがえることを願うのみであります。

仁保地区の水道整備事業

仁保地区における水道整備計画のその後の状況について申し上げます。

昨年度は宮野側の中継ポン

プ場、配水池およびこの間を結ぶ送水管の工事が完了いたしました。

本年度は7月に当初の国庫補助金要望額に対し80%の補助金の内示があり、昨年度に引き続き配水管本管約7.5kmおよび電気計装設備の工事を実施しております。

給水状況につきましては、当初の計画どおり9月1日仁保地区中心部へ一部給水を開始し、現在、仁保小学校・幼稚園、KDD、ひらきの里および約50戸の家庭に給水を行っております。今後は工事の進捗よくに合わせ、順次給水を開始してまいりたいと思っております。

来年度の事業につきましては、当初計画どおり平成4年度末を目標に計画区域の水道整備を完了し、全戸給水を行っていきたいと考えております。

備を完了し、給水を開始する計画です。

仁保に給水する上水道は大内の殿河内水源地で取水、滅菌したものを、今まで宮野上地区一帯に給水していた配水管未から、新しく設置した仁保地配水池にポンプアップし、ここから自然流下方式によって、各家庭に給水するものです。

仁保地区に上水道が通水

平成元年 仁保の一部地域で基準値を上回るフッ素が検出され、地元から上水道布設について、強い要望がありました。

仁保地域は当時進めていた第7次水道拡張事業の計画区域外でしたが、中郷及び下郷地区の約450戸(2千5百人)を対象にした計画区域の変更拡大を行い、9月に一部通水を開始しました。



- 1日 「赤い羽根」共同募金運動街頭宣伝(道場門前)
- 2日 山口市美術展覧会審査会(市民会館)
- 5日 山口市美術展覧会表彰式(第2会議室)▽同展覧会(11日)(市民会館)▽地域政策フォーラム(県視聴覚センター)▽姉妹都市パンプローナ訪問団出発式(市民会館小ホール前)
- 10日 体育の日・市民スポーツデー(市内各体育施設)
- 13日 第29回山口県身体障害者体育大会「球技大会」(県スポーツ文化センター)
- 15日 健康と環境を守る山口市大会(市保健センター)
- 19日 山口市花いっぱい運動推進大会(山口南総合センター)
- 20日 西・東鳳山縦走ハイキング(鳳山)
- 22日 いきいきシルバールえあいスポーツ大会(維新公園陸上競技場)
- 23日 一日行政・法律合同相談所(市民会館小ホール)
- 24日 山口市民大学講座(市民会館)
- 26日 山口県農林水産まつり(県農業試験場)
- 29日 交通安全ゲートボール大会(鑄鉄司遺跡広場)

まちの活性化とイメージアップを

—サビエル・サミット開催—



はじめての布教所とした大道寺跡のサビエル公園

参加自治体

- ・鹿児島県 鹿児島市 市長 赤崎 義則
- ・長崎県 平戸市 市長 油屋亮太郎
- ・大分県 大分市 市長 木下敬之助
- ・山口県 山口市 市長 佐内 正治

サビエルにゆかりのある全国の市・町のなかから、今なお、サビエルの遺業が伝わっている4つの自治体が初めて集まる「サビエル・サミット」が山口市で開催されます。

サビエル・サミットは、サビエルにゆかりのある、鹿児島市、平戸市、大分市、山口市の4市の首長が集まり、11月6日、7日の2日間山口で開催されます。

参加市が、お互いの地域の現状や創造的な施策について情報を交換し、これからの教育、文化、観光、産業などの面で、活発な交流を深めていきながら、まちの活性化とイメージアップを図っていくこととするものです。

記念講演やシンポジウムを開催

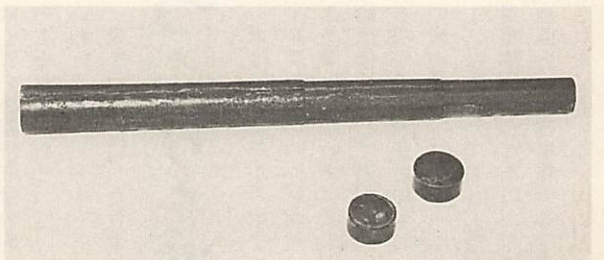
第1回目のサビエル・サミットは、11月6日・7日に、山口のニューメディアプラザ山口の多目的シアターとイベントホールを主会場に開催されます。主な内容は、

- 6日 記念講演会「サビエルの人生」
- 講師 結城了悟日本26聖人記念館館長

ビデオ鑑賞「サビエルの道」シンポジウム「各地域におけるサビエル」

- コーディネーター 国守進 山口女子大学教授
- パネラー 結城了悟さん、松村紅美子(有)アドソーホ1代表取締役、田中倫子山口芸術短期大学助教授、原口泉鹿児島大学教授

7日



サビエルが大内義隆に贈ったと伝えられる望遠鏡

交流会議、サミット宣言などが計画されています。

また、この2日間、サビエル資料館(記念聖堂跡横)では、サビエル展が開かれ、サビエルが大内義隆に記念品として贈ったと伝えられる望遠鏡やサビエル城の模型などが展示されます。

なお、6日に開催される開會行事(13時)からシンポジウムまでは市民の方も2百人まで入れます。

参加を希望の方は往復はがきで、返信用に宛名を記入し、10月25日(必着)までに、市国際交流室(〒753山口市亀山町2-1)へ申し込みください。参加希望者が多い場合は抽選とさせていただきます。

ほんにちは市役所です

職場訪問 土木課の巻

土木課は、5係24名の職員で、市道の改良事業や維持修繕、交通安全施設の整備、また、がけ地崩壊防止、海岸防潮対策、水防、災害復旧事業など、市民の生活に直結した仕事を行っています。

生活道としての市道の現況は、実延長約6百3kmで、その改良率は52%、舗装率は92%です。また幅員が狭かったり路肩が軟弱であったり、見通しの悪い箇所などもたくさんあり、良好な居住環境の確保、経済活動の活性化を図るためにその整備に努めています。



コミュニティ道路として整備された山高通り

道路の形状を変更したり、占用工事が無届けで行われていたこともあります。みんなの使う、みんなの道路、大切にしたいものです。

一方、水害、高潮や土砂災害などから、市民の皆さんの生命財産を守ることも重要な仕事です。豪雨や台風襲来時には水防体制をとり、昼夜をとわず警戒に当たり災害の防止に備えています。

カラー舗装や道路空間と一体になったコミュニティ道路、緑やモニュメントを配した橋、うるおいのある道路整備にも努めています。市道は、皆さんにとって最も身近な道路です。最近、道路に空き缶やごみが捨てられています。その他市道の認定、廃止、境界確認や占用・加工の許可、交通規制などの事務、国有財産に関する進達事務も行っています。このように土木課の仕事は、多岐多様にあたり、職員一同、市民のご協力を得ながら生活基盤の整備に一層の努力を続けます。

政府買入価格に係る銘柄区分 お米の栄養(100g当り)

銘柄区分	1 類	3 類
品種	コシヒカリ	ホウレイ
	ヤマホウシ	アキツホ
	ヤマヒカリ	せとむすめ
		日本晴
		晴々
		中生新千本

ビタミンB1	0.12mg
ビタミンB2	0.03mg
ナトリウム	2mg
糖 質	75.5g
たんぱく質	6.8g
カルシウム	6mg
セソイ	0.3g
脂 質	1.3g
水 分	15.5g
	その他

資料(財)全国米穀協会

お米を見直そう

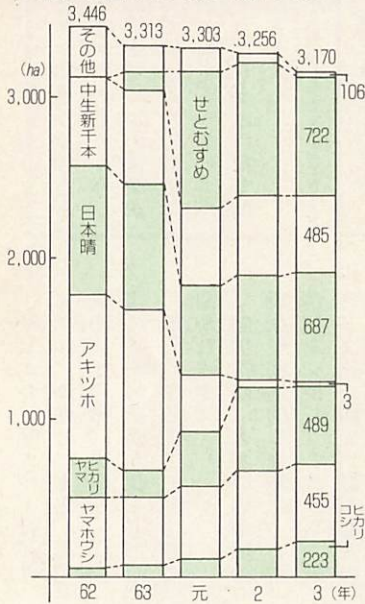
健やかな食生活を支える主食

抜けるような秋空の中、稲の刈り取りがまっ盛りです。豊かな食生活の中で、主食として大きなウエートを占めているお米。農林業の基幹作物である水稲は、昭和45年から始まった生産調整に伴い作付面積は大きく減少しながら、なお、米の供給は過剰となっています。日本の穀物自給率は30程といわれる中、「おいしい米づくり」と「米の消費拡大」について考えてみる必要があります。

県内一の作付面積 楽しい“米”中心の食生活

やわらかい秋の光にそよぎ黄金色に輝く稲穂、稲作は主食として私たちに欠けてはくことのできない作物です。日本における稲作は、2千年以上の歴史をもち、日本人の生活や文化と深く結びつきながら発展してきました。山口市の平成2年度の作付面積は3千3百畝で、収穫量は1万6千6百石、10ア当たりの収量は5百3石でした。作付面積は年々減少して

主要品種の作付面積の動向



おいしい米づくりを進めています

おいしい米づくりを進めています。お米は、炭水化物のかたまりのように思われますが、成りながら、炭水化物のかたまりの約7割はたんぱく質で消化吸収がよく、日本人のたんぱく質の必要摂取量の約4分の1をお米からとっているといわれます。米をベースにした食生活は考えてみましょう。

米は昭和45年から始まった生産調整に伴い作付面積は大きく減少しています。米の供給は依然として過剰傾向にあるなかで、消費者の「おいしい米(食味のよい米)へのニーズは高まっており、経済連、農業協同組合、市町、米麦改良協会、食糧事務所等で構成された「おいしい山口米づく



稲の生育期に長雨や、異常低温と、稲にとっては悪い気象条件が重なり収量は昨年より落ちると農家の表情はさびしい。

り連絡協議会」を設けて、各地帯でのおいしい山口米づくりのための品種の誘導や栽培基準を確立して、おいしい米の生産出荷をめざして事業の推進を図っております。食味計を導入して実態調査

今一度、お米の良さを見直して日本の伝統的食生活を考えてみましょう。

何のおかずにも合うのがごはんです。勤めてますので朝の食事はごはんのみそ汁が主で、生野菜が苦手な子どももみそ汁に入れてやれば喜びます。



山崎洋子さん 天 花

朝は、アツアツのご飯に生卵をかけ、味噌汁にタクワンがあれば最高です。食欲がない時は、茶漬でサラサラとかきこみます。米を食べないと仕事にも力が入りませんね。



大和義昌さん 宮野江良

炊きたての熱いごはんーおいしいですね。おにぎり弁当は子どもも喜びます。もち米の中華まきを作ってます。冷凍ができるのでふいのお客様のとき重宝しますよ。



古屋延子さん 宮野熊坂

3つの地帯に分けて、誘導品種に北部地帯ではブランド米となるコシヒカリ、ヤマホウシの作付の拡大、南部では酒米となる日本晴、中生新千本を需要に見合う作付面積の確保、早期米コシヒカリを作付して秋冬野菜の生産団地を作ることになっています。

食味や品質を良くするため食味計を導入して、各集落から2千点の玄米サンプルの食味実態調査を行い、おいしい米の目安となるねばり、ちっ素、マグネシウム、カリウム等の成分を測定して、土づくりや食味を向上させる施肥方法などの栽培技術を統一しておいしい米づくりをめざしています。

法などの栽培技術を統一しておいしい米づくりをめざしています。

土づくりによる

省農薬米の作付拡大

仁保農協では、稲作研究会が中心となって、「安全な米・おいしい米づくり」を目標にコシヒカリ、ヤマホウシ、日本晴、セトムスメを米の基幹品種として地域全体で取り組んでいます。

平成2年3月に完成した農協直営の堆肥センターで作られる1千トンの堆肥を計画的に供給して、土づくりによる省農薬米の作付拡大を図っています。

10月は、米消費拡大月間で、各地区で開催される公民館まつりでは、米消費の多彩な行事が開催されます。

米の消費拡大に想う

仁保農協組合長 末永昌巳

米の消費拡大については、その議論が始められて久しい。お金を出し合ってPRもするし、米やむすびの無料配布や、ポン菓子も作った。

米の消費拡大については、その議論が始められて久しい。お金を出し合ってPRもするし、米やむすびの無料配布や、ポン菓子も作った。

ます。

平成2年には生産出荷された千2百トの内、約75割が自主流通米で、特に日本晴は価格も安く、味も良いと消費者の評価は高く、生協を中心に供給をしています。

10月は、米消費拡大月間で、各地区で開催される公民館まつりでは、米消費の多彩な行事が開催されます。

日本人にとって大切な栄養源であるお米の消費量をふやし日本型食生活でバランスのとれた食事で健康増進に心がけましょう。

日本人にとって大切な栄養源であるお米の消費量をふやし日本型食生活でバランスのとれた食事で健康増進に心がけましょう。



康とか、お米の消費が見直されつつあるが、まだ大きい流れにはなり得ない。

消費拡大の運動はサイの河原の石積みであるように見えるが、かと言って手を抜くわけにはゆかない。

私どもは、アジアモンスーン地帯の条件を活かした食べものづくりには、米づくりが最適であり、そのために日本の国土が守られもしていることをもう少し広く消費者に理解してもらうことが、基本的

に大切と考えているが、そうしたムードを作ることも今の世情では大変である。

昭和30年代から始まったパンを中心とした学校給食で訓練された人達がパン食一世とすれば、今は、そうした親から教えられた食生活を常識と考えるパン食二世のお子さんたち、つまりパン食三世の時代に入っている。

30年間の教育の中で培われた食生活習慣がベースになっ

て、飽食の時代を迎えていることを思えば、このままでは米消費の拡大にもならないし、日本の食文化の回復もむずかしい。

やはり学校教育の場を通して米飯給食の全日実施をやるべきと考えている。

給食で日本、世界の味巡り

「給食で食べ物の旅を」。大殿小学校では、毎月1回、世界を巡ります。



9月の味の旅は、米どころ新潟県。もち米の五目おこね、さけの焼きづけ、柿あえ、笹だんごの4品に、児童たちは「おいしい」と舌つづみ。

食べ物の旅を発案した、栄養士の藤井由紀江さんは「古くから伝えられている郷土料理で和食の良さや、お米の役割などを子供たちに知ってもらいたい」。10月は、ブラジル料理を楽しみます。

かつて、お米は、自校炊飯方式に返すべきだと考えている。

その土地土地の生産物を、米も含めて子供たちが雑談しながら食べる。そんな調理も必要である。

そのことが、地域に根ざした食べもの観を育てることになり、食習慣の基礎となるからである。

お米の消費拡大、少し気の長い話のようであるが、学校給食で食文化の再構築を行うぐらいの視点をもって考え直すことから始めるべきである。

また、一種のダムとして雨を一時的に貯え、下流域の洪水被害を防ぐほか、土壌の流出を防ぐなど大きな役割を果たしています。水田を維持することは自然環境を守る観点からも重要なものとなります。

お米を食べると太る。太るといのは必要以上にエネルギーをとるためです。欧米では、お米はダイエット食品として人気があります。お米は低エネルギーで満腹感を味わえ主食にするとエネルギー量を調節しやすいからです。

お米を食べると高血圧になる。お米の中には血圧を高めるような成分は含まれていません。血圧が高くなるのは塩分のとり過ぎが原因と考えられます。

お米 まちがっています

お米を食べると太る。太るといのは必要以上にエネルギーをとるためです。欧米では、お米はダイエット食品として人気があります。お米は低エネルギーで満腹感を味わえ主食にするとエネルギー量を調節しやすいからです。

お米を食べると高血圧になる。お米の中には血圧を高めるような成分は含まれていません。血圧が高くなるのは塩分のとり過ぎが原因と考えられます。

お米はエネルギー源になるだけ。お米に含まれているたんぱく質は、体内での利用効率が低い肉や牛乳と並ぶほど、質の高いものです。お米の栄養価を正しく理解して、毎日の食生活の中でお米を上手に活かしましょう。

水田 自然環境を守る水田

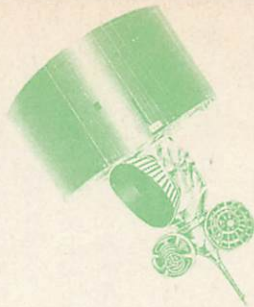
水田は、すぐれた生産基盤のほか、保水、貯水機能を通じて地下水のかん養源となるなど水資源や生態系の維持に役立っています。

また、一種のダムとして雨を一時的に貯え、下流域の洪水被害を防ぐほか、土壌の流出を防ぐなど大きな役割を果たしています。水田を維持することは自然環境を守る観点からも重要なものとなります。

平川中学校に

気象衛星ひまわり

画像受信システム設置



情報化時代が

ぼくらの学校に



高度情報通信都市宣言(平成元年3月、市議会決議)関連の情報化推進事業として9月26日、平川中学校に「気象衛星ひまわり画像受信システム」が設置されました。次代を担う子供たちが学校で情報機器に触れ、雲の状態や動き、台風の進行状況を知るなどして、情報化社会がより身近に感じられ、高度情報都市づくりが一層推進されるものと期待されます。

雲の動きを図書室で

情報化時代に沿った新しい教育機材を取り入れた平川中学校は、平成2年4月に開校したばかりの新設校で、視聴覚教室にはパソコン21台、フリアクセスフロアーを導入するなど最新の設備を整えている学校です。

気象衛星通信システムは、

屋上に設置された直径75センチのパラボラアンテナで「ひまわり」から送られてくる気象情報をキャッチ、視聴覚準備室に備え付けられた受信機器を通して図書室の21画面のディスプレイに映し出します。

情報は、日本付近の画像が1時間ごとに、日本を経度の中心に置いた半球面の画像が、ほぼ3時間ごとに送られてきて、温度差を色の濃淡で表現する赤外画像や、雲や積雪、流水の場所を知ることのできる可視光画像をディスプレイで見ることが出来ます。

平川中学校では、この受信システムを、気象の学習やパソコン部などの課外活動に活用し、情報化社会に適応した人材の育成に役立てます。

山口市は、衛星通信施設が集中、また高度情報化の推進拠点としてニューメディアブ

ラザ山口が平成2年5月にオープンするなど、高度情報都市としての機能を充実させてきております。

気象衛星「ひまわり」

気象衛星「ひまわり」(現在4号が活躍中)は、東経一四〇度の赤道上空3万5千8百キロに静止して宇宙空間から観測を行い、各種の気象データを地上に送ってきています。これらのデータは我が国の気象災害防止に重要な役割を果たしているだけでなく、西太平洋およびアジア地域、オセアニアの10数か国で気象解析、予報、研究などに利用されています。

来春入学するお子さんの健診 通知書が届かない人は連絡を

来春4月、小学校に入学されるお子さんの就学時健康診断を、次のとおり行います。

該当するお子さんは、昭和60年4月2日から61年4月1日までに生まれたお子さん、就学義務猶予の認可を受け、現在入学していない

該当者で、通知書が実施日の5日前までに届かない場合は、市教育委員会学校教育課(☎22-4111)へお問い合わせください。

[就学時健康診断日程]

小学校名	実施日	受付時間
宮野小	10月30日(水)	12:30~12:50
大殿小	10月25日(金)	12:20~12:40
白石小	11月14日(水)	12:20~12:40
湯田小	10月25日(金)	12:10~12:40
良城小	10月24日(木)	12:00~12:30
大歳小	11月20日(水)	12:00~12:30
平川小	11月13日(水)	12:50~13:20
陶小	10月29日(水)	12:40~13:00
名田島小	11月27日(水)	12:20~12:40
二島小	11月19日(水)	12:20~12:40
嘉川小	11月14日(水)	12:30~12:45
興進小	10月15日(水)	12:30~12:45
佐山小	11月13日(水)	12:15~12:30
鑄銭司小	10月22日(水)	12:30~12:50
仁保小	10月18日(金)	13:00~13:20
小鯖小	11月28日(水)	12:10~12:30
大内小	11月15日(金)	12:00~12:40

事業主の皆さん 65歳まで継続雇用を

本格的な高年齢化社会の到来を迎え、人生80年時代の活力ある社会を維持してゆくうえで、高年齢者の豊富なキャリアの活用が大切です。

一人でも多くの高年齢者に雇用就業の場を確保するため、60歳定年制の早期定着と65歳までの継続雇用の促進に、ぜひご理解とご協力をお願いします。

また、高年齢者の雇用、定年到達者の雇用延長等をされますと、各種助成制度等の適用も受けられます。

詳しくは、ハローワーク山口(山口公共職業安定所 ☎22-0043)求人部門へお問い合わせください。

催し物のお知らせ

健康と環境を守る山口市大会

- 日時 10月15日(火)午後1時～3時30分
- 場所 山口市保健センター
- 内容 開会式(山口市健康と環境を守る会会長表彰ほか)、身長・体重・肥満度チェック、みそ汁塩分濃度測定、健康パネル、野菜くずを使った環境にやさしい料理、榎野川写真展
- 記念講演「榎野川水系の水質と投棄ごみによる汚染の現況について」脇坂宣尚・宇部短期大学教授

10月13日～19日は行政相談週間

- 総務庁(山口行政相談所)では、行政相談制度を設けています。行政相談は、この週間だけでなくいつでも受け付けています。
- 日時 毎月第3水曜日午前10時～午後4時、場所 寿泉荘(湯田温泉五丁目)行政相談委員杉山義正さん(吉敷2849☎22-3635)
 - 日時 毎月第4水曜日午後1時～4時、場所 市福祉センター(下堅小路)行政相談委員鈴木スミ子さん(中央三丁目6-30☎24-7878)
 - 問い合わせ 山口行政監察事務所(中河原町6-16☎32-1100)へ

第12回附養祭

- 日時 10月20日(日)午前9時～午後3時(雨天決行)
- 場所 山大教育学部附属養護学校
- 内容 運動部門 組体操、ダンス、ゲームなど 広場部門 陶芸(実習・販売)、農園(芋掘り・野菜の販売)、木工工、印刷実演・実習など
- 都市計画公園の変更
都市計画課で、藤尾山公園整備計画に伴う都市公園の変更の縦覧を行います。
- 期間 10月11日(金)まで(縦覧中)

都市緑化祭

- 日時 10月19日(土)・20日(日)午前9時30分～午後4時
- 場所 中央公園広場(県体育館前)
- 内容 庭園樹・花木の販売、緑化相談、せん定実技講習、苗木の販売(先着順に1日当たり250本)、お祭り広場(綿菓子、アメのつかみどり、ヨーヨーつり、竹細工ほか)

第13回ふれあい館の陶芸習作展

- 日時 10月17日(木)～20日(日)午前9時～午後4時
- 場所 山口ふれあい館(宮野岩杖)
- 内容 同館陶芸習作会員による萩焼などの作品展示およびチャリティー即売会

行政書士110番

- 開設日時 10月1日(火)～5日(土)午前10時～午後4時(5日は午前10時～正午)
- 相談窓口 山口県行政書士会(駅通り二丁目4-17☎24-5059)
- 相談内容 官公署に提出する書類、事実証明に関する書類(車庫証明、自動車登録、農地転用、建設業)、相続、土地の境界など。電話での相談も可。

募集コーナー

和裁教室

- 日時 10月21日から毎週月曜日午後1時～4時(全8回)
- 場所 山口ふるさと伝承総合センター
- 内容 女物浴衣作成(終了者を対象にリフォームの教室開催予定)
- 募集人員 10名
- 受講料 無料(教材費実費)
- 申し込み 電話で、山口ふるさと伝承総合センター(下堅小路☎28-3333)へ

文化財探訪教室

- 日時 10月27日(日)午前9時30分～午後5時
- 集合 市民会館小ホール前に午前9時20分までに集合してください。
- 主な探訪地 乗福寺、山根観音堂、興隆寺、玄答院、源久寺、嘉村磯多生家、泰雲寺、禅昌寺、小鯖八幡宮など。
- 募集人員 40名(申込順)
- 参加費 無料(昼食・水筒を持参)
- 説明者 文化財センター職員
- 申し込み 10月15日(火)までに、電話で市文化財センター(春日町5-1☎24-7001)へ

ニュースポーツ教室

- 開設日時 10月24日、31日、11月7日、14日、21日(毎週木曜日、全5回)午後7時～9時
- 場所 山口南総合センターアリーナ
- 種目 バウンドテニス・ラージボール卓球
- 参加対象者 一般男女で運動ができる方
- 募集人員 50名
- 参加料 500円(実費)
- 申し込み 10月18日(金)までに、電話か、直接山口南総合センター(名田島1218-1☎32-8333)へ

ふるさとシリーズ講座

- 期日・テーマ 10月18日(金)、11月1日(金)ふるさとの植物、11月11日(月)、25日(月)ふるさとの気候、12月4日(水)、18日(水)ふるさとの住まい、1月9日(木)、23日(木)ふるさとの味、2月4日(火)、18日(火)ふるさとの文学
- 時間 午後1時30分～3時
- 会場 山口ふるさと伝承総合センター
- 募集人員・受講料 50名・500円
- 申し込み 山口ふるさと伝承総合センター(下堅小路☎28-3333)へ

平成3年度 秋季農作業標準賃金

山口市農業委員会

	機 械 等	単 位	金 額	備 考
稲刈等	バインダー	10a当	10,700円	ヒモ代を含む
	ハーベスター	〃	12,400円	脱穀作業
	コンバイン	〃	22,500円	ほの場面1枚積 5a未満1枚につき2,500円 5a～10a未満1,300円 上記の金額を加算する 30a以上500円割引
乾 燥	基本料金	1袋当	510円	玄米1袋(30kg) 水分17%以下で、乾燥調整・糶摺袋詰めまで
	割増料金	〃	95円	水分17.1%以上1%増すごとに
糶	摺	〃	335円	玄米1袋(30kg)
耕 う ん 作 業	10a当		12,200円	(畑) 荒起しから畦立まで
			14,400円	(田) 〃 〃
			9,200円	荒起しのみ
賃 金	男 女	日 当	7,500円	農繁期における米麦作農業賃金に限る。実働8時間
			6,500円	

※左記の賃金は、標準賃金のため各地区における土地立地条件等の事情により適宜補正してください。
※左記の賃金は、食糧費等の経費は一切含まれていません。
※コンバイン割増・遠隔地・倒伏田・湿田・不整形田は基本料金の1割以上。

編集後記

▽台風17号が山口を吹き抜けると、まっ赤なひがん花が咲き始め、すっかり秋めいてきた。今年の稲作は長雨や冷夏などの不順な気候で収量は平年を割りそう。伸びない米消費、ガットでの米の輸入自由化問題等、

米を取り巻く環境はひとさわ敵しい。
▽「気象衛星の画像受信システム」が平川中学校に設置された。最新の情報処理システムに次代を担う子供たちが自由に触れ、理解を深めることは、高度情報通信都市づくりをめざす本市には心強い。

健康コーナー

1歳6か月児の健康診査

〔北部地区〕

- 期日 10月24日(木)
- 場所 市保健センター
- 対象 平成2年4月生まれの幼児

〔南部地区〕

- 期日 10月22日(火)
- 場所 山口南総合センター
- 対象 平成2年2月から4月までに生まれた幼児

- ◎受付時間 いずれも午後1時～2時
- ◎料金 無料(母子健康手帳を持参)
- ※当日、検尿がありますので、取れる方は、清潔な容器に入れてお持ちください。混雑しますので、受付時間をお守りください。

生ポリオワクチンの投与

- 対象者 〈1回目の人〉昭和62年10月22日から平成3年7月21日までに生まれた乳幼児 〈2回目の人〉今までに1回のみ投与した人で、昭和62年10月22日から平成3年2月20日までに生まれた乳幼児
- 投与できない人 有熱患者、下痢患者、病後衰弱者、麻しん(MMRを含む)ワクチン接種後1か月以内の乳幼児
- 料金 無料(母子健康手帳、印鑑持参)

月日	会場	時間
10月21日(明)	佐山公民館	13:30~13:45
	嘉川公民館	14:05~14:25
	名田島公民館	14:45~15:00
10月22日(火)	山口市保健センター(大殿地区分)	13:30~14:45
10月23日(水)	湯田公民館	13:30~14:30
10月24日(木)	陶公民館	13:30~13:50
	鑄銭司公民館	14:10~14:30
10月25日(金)	二島公民館	14:45~15:00
	吉敷公民館	13:30~14:30
10月28日(明)	宮野公民館	13:30~14:20
	仁保公民館	14:40~15:00
10月29日(火)	平川出張所	13:30~14:15
	大歳公民館	14:30~15:00
10月30日(水)	大内公民館	13:30~14:20
	小鯖公民館	14:40~15:00
10月31日(木)	山口市保健センター(白石地区分)	13:30~14:45

健康体力づくり

西東鳳翻山 縦走ハイキング



- 日時 10月20日(日)集合時間午前9時(雨天中止)
- 集合場所 市役所玄関前
- 参加対象者 市民180人(小学生以上)
- 参加料 無料(傷害保険料として1人当たり50円徴収)
- コース 市役所玄関前～登山口(吉敷畑)～油峠～西鳳翻山山頂(昼食)～油峠～地蔵峠～東鳳翻山山頂(現地解散)
- 携行品 昼食、水筒、タオル、手袋ほか
- 申し込み 10月17日(木)までに、市教育委員会体育課(亀山町2-1 ☎22-4111)へ。電話での申し込み可。

3歳児の健康診査

- 期日・対象地区 〈10月16日(水)〉白石、湯田、吉敷、平川、大歳、〈23日(水)〉大殿、仁保、小鯖、大内、宮野
- 受付時間 午後1時～2時
- 場所 山口環境保健所
- 該当児 昭和63年10月生まれの幼児と過去未受診者
- 料金 無料(受診者は母子健康手帳と事前に送付した健診票・アンケートをご持参ください)
- ※当日、検尿がありますので取りにくい方は、取ってきてください。

胃がん検診

- 右表の医療機関で行います。前もって予約し、受診日時を確かめてください。受診の際は、基本健診時に郵送した受診票(はがき)を持参してください。
- 受診票のない人は、山口市保健センター(☎21-2666)へおたずねください。
- 期間 10月1日～31日(月、土曜日を除く診療時間内)
 - 対象者 40歳以上で今年検診を受けておられない人(妊婦および胃の手術をしている人は除く)
 - 料金 2,000円(70歳以上および生活保護世帯、市民税非課税世帯の人は無料)

医療機関名	電話番号
青山内科消化器科	0839-23-1577
赤川医科	22-0299
阿武内科	22-7120
あんの循環器内科	24-1151
池田内科	22-1049
丘病院	25-1100
奥田胃腸科内科	25-2188
おとし医科	22-9777
香川内科	21-1700
国近内科	22-0822
神徳内科	24-3780
鴻城病院	22-0166
藤外科眼科	24-3550
佐々木外科病院	23-8811
柴田内科	27-2800
清水内科	25-2288
田中内科	27-5020
縄田外科	22-7527
縄田内科	22-0149
野瀬内科小児科	27-2655
林外科	22-0139
原田内科胃腸科	23-2344
藤原内科	23-5517
牧野内科	22-0885
美澄内科	22-2285
本山永内科	25-7001
山県内科	22-0206
山口病院	22-1191
共立立病院	083665-2200
同仁病院	2130
岩崎クリニク	08397-3-0637
岡崎村ニック	3-2053
第一総合病院	2-0333
嘉村外科	2-2513
河端内科	2-3820
小林内科	3-1515
田中内科	2-2325
田村内科	083989-4749
林病科	08397-2-0411
三隅外科	2-1003
村田外科	2-7100
山口総合健診センター	2-4325

10月の休日当番医	外科系		内科系		外科系		内科系			
	診療時間	担当	診療時間	担当	診療時間	担当	診療時間	担当	診療時間	担当
6	小田整形外科	山口☎48972	野瀬内科小児科	山口☎272655	共立病院	宇部☎652200	岩崎クリニック	小郡☎30637	有富医院	秋穂 2705
10	奥山整形外科	山口☎230022	奥田胃腸科内科	山口☎252188	嘉村外科	小郡☎22513	小児科柳沢医院	小郡☎33121	同仁病院	宇部☎652130
13	斉藤外科眼科	山口☎243550	藤原内科	山口☎235517	相川医院	山口☎862177	上郷医院	小郡☎20916	田村内科	山口☎894749
20	鴻城病院	山口☎220166	青山内科消化器科	山口☎231577	村田外科	小郡☎27100	小橋クリニック	小郡☎35000	小野医院	秋穂 2353
27	坂本整形外科	山口☎255566	田中内科	山口☎275020	小川整形外科	小郡☎22887	山岸内科	小郡☎22788	三河内医院	秋穂 2711

診療時間：午前8時30分～午後5時30分

診療時間：午前9時～午後6時

■休日夜間急病診療所(外科・内科・小児科) 土曜・日曜・祝日の午後7時～11時 ■休日夜間当番医テレホンサービス☎23-5000
(糸米二丁目6-6 ☎25-2266) (歯科) 日曜・祝日の午前9時～午後3時

吉南医師会 土曜夜間在宅当番医 診療時間19時～22時	10月5日		10月12日		10月19日		10月26日		
	内科系	共立病院	宇部☎652200	上郷医院	小郡☎20916	山岸内科	小郡☎22788	同仁病院	宇部☎652130
	外科系	相川医院	山口☎862177	小林外科	小郡☎31515	嘉村外科	小郡☎22513	共立病院	宇部☎652200

■平日夜間の休日当番医の問い合わせは☎22-1470(消防本部)へ